

(別紙5)

整理番号 2023P-114
補助事業名 2023年度 青少年の健やかな成長を育む活動 補助事業
補助事業者名 公益財団法人日本極地研究振興会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

南極や北極での現象や問題を学び、それを取りまとめ、あるいは課題を解決する提案を応募作品にまとめることを通してSDGs(持続可能な開発目標)に関心を持ち、未解明の課題に挑戦する行動力を育むことを目的とした。

(2) 実施内容

① コンテスト実施の公告(2023年7月14日よりサイトで告知)

作品の応募期間、募集要項が財団のサイトに掲載されていることを知らせた。

(URL https://kyokuchi.or.jp/contest/2023_top)



第2回コンテストのチラシ



朝日小学生新聞に掲載した作品募集広告(2023年8月23日、9月6日、15日)

(別紙5)

② コンテスト受賞作品発表 (2023年12月24日付小学生新聞、および授賞式後サイトに掲載)

The screenshot shows a detailed award announcement page for the 'South Pole/North Pole SDGs Inquiry Learning Contest'. It features a grid of award categories such as '特別優秀賞' (Special Excellent Award), '優良賞' (Excellent Award), 'いすゞ自動車賞' (Isuzu Award), 'KDDI賞' (KDDI Award), '竹中工務店賞' (Takeuchi Construction Award), '多摩信用金庫賞' (Tama Credit Union Award), '東洋羽毛賞' (Toyo Feather Award), '飛鳥建設賞' (Asuka Construction Award), 'ヤンマー賞' (Yanmar Award), '極地研究振興会賞' (Polar Research Promotion Award), and '奨励賞' (Encouragement Award). Each category lists the winning team name, members, and a brief description of their project. The page also includes contact information for the organizing committee and a URL for more details.

朝日小学生新聞に掲載した受賞作品発表広告 (2023年12月24日)

This section contains two panels from the Asahi Children's Newspaper. The left panel, titled '特別優秀賞 (4-6年生部門での入賞)', features the project 'どうしたら南極国際ステーションを作れるの?' (How can we build an international station in Antarctica?). It lists the team 'Team TOUR!' and provides a review from the judges praising their idea and research. The right panel, titled '優良賞 (1-3年生部門での入賞)', features the project '南極にクマはいれる?' (Can bears go to Antarctica?). It lists the team 'Team TOUR!' and provides a review from the judges commending their creative and thoughtful approach to the question.

授賞式後、サイトに掲載した受賞作品の紹介例

(URL https://kyokuchi.or.jp/contest/2023_top/result/award)

③ コンテスト授賞式 (2024年1月27日に立川の会議室をハブとしてインターネットで繋いだ) 受賞作品を作ったチームをリモート会議システムで繋ぎ、作品の講評や制作時の工夫や苦労、役割分担や受賞の感想を話してもらった。

(別紙5)



コンテストの授賞式の様子を約50分にまとめて公開
 (URL <https://www.youtube.com/watch?v=tlypKU02uqk>)

2 予想される事業実施効果

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

コンテストに作品を応募した小学生全員に参加賞として制作した
 「南極・北極から学ぶ地球の未来 [基礎編] 2024」



表紙

- 目次 -	
1	南極・北極はどこにある？ 02
	南極から考える地球の未来-南極は地球にとって、なぜ大切な場所？ 02
	北極から考える地球の未来-北極は地球にとって、なぜ大切な場所？ 05
	南極・北極探検の歴史-なぜ探検者たちは行ったのか？ 06
	南極・北極の生物多様性-なぜ南極は生物多様性の宝庫なのか？ 09
	南極・北極探検の歴史-なぜ探検者たちは行ったのか？ 10
	南極・北極探検の歴史-なぜ探検者たちは行ったのか？ 12
	南極・北極探検の歴史-なぜ探検者たちは行ったのか？ 13
2	南極・北極の環境を守るために 14
	【南極】日本の観測基地-南極では、どんな観測が行われているのか？ 14
	南極の観測基地-南極では、どんな観測が行われているのか？ 16
	南極の観測基地-南極では、どんな観測が行われているのか？ 17
	【北極】日本の観測基地-北極では、どんな観測が行われているのか？ 18
	北極の観測基地-北極では、どんな観測が行われているのか？ 21
	南極の環境を守るための約束-南極はどこまでいけるのか？ 22
	北極の環境変化と国際協力-南極を守るために何をすべきか？ 24
3	進む地球の温暖化と、生き物たちへの影響 26
	地球温暖化とは-なぜ地球が暖かくなるのか？ 26
	地球温暖化と生き物たち 28
	地球温暖化と生き物たち 29
	地球温暖化と生き物たち 30
	地球温暖化と生き物たち 31
	南極の温暖化とペンギン 32
	北極の温暖化とクマ 34
	北極の温暖化とクマ 35
4	南極・北極は宇宙に開かれた窓 40
	オーロラから宇宙の探検を知る-南極は宇宙探検の宝庫 40
	オーロラから宇宙の探検を知る-南極は宇宙探検の宝庫 43
	オーロラから宇宙の探検を知る-南極は宇宙探検の宝庫 44
	オーロラから宇宙の探検を知る-南極は宇宙探検の宝庫 46
	オーロラから宇宙の探検を知る-南極は宇宙探検の宝庫 47
	オーロラから宇宙の探検を知る-南極は宇宙探検の宝庫 48
	オーロラから宇宙の探検を知る-南極は宇宙探検の宝庫 50
	オーロラから宇宙の探検を知る-南極は宇宙探検の宝庫 51
5	昭和基地のひみつ 52
	昭和基地の建物-電気が通っていない基地 52
	昭和基地の建物-電気が通っていない基地 54
	昭和基地の建物-電気が通っていない基地 56
	昭和基地の建物-電気が通っていない基地 57
	昭和基地の建物-電気が通っていない基地 58
	昭和基地の建物-電気が通っていない基地 61
	昭和基地の建物-電気が通っていない基地 62
	昭和基地の建物-電気が通っていない基地 63

目次

(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人 日本極地研究振興会
(コウエキザイダンホウジン ニホンキョクチケンキュウシンコウカイ)
住 所： 〒 190-0023
東京都立川市柴崎町 2-5-2-503
代 表 者： 代表理事 藤井良一 (フジイリョウイチ)
担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)
担 当 者 名： 事務局長 渡邊研太郎 (ワタナベケンタロウ)
電 話 番 号： 042-512-5357
F A X： 042-512-5358
E - m a i l： kwata@kyokuchi.or.jp
U R L： <https://kyokuchi.or.jp/>